

# 千葉県 NEWS

## CHIBA CANCER CENTER NEWS

# がんセンターニュース



第42号

令和元年9月12日発行  
発行/千葉県がんセンター

## 基本理念

私たちは、心と体にやさしく、希望の持てるがん医療を提供します。

### 巻頭言



## 働く人にもやさしいがんセンターを目指して

看護局長 おお さか み ほ 大坂美穂

現在、仕事を持ちながら通院しているがん患者さんは、男性14.4万人、女性18.1万人と女性の方が多い傾向にあります。また8割のがん患者さんが「仕事を続けたい」と考え、その理由は「家庭の生計を維持するため」、次いで「働くことが自身の生きがいであるため」と、就労が精神的な支えになっています。一方で治療により長期職場離脱した職員のうち復職出来たのは約6割と厳しい状況にあります。

日本人の2人に1人ががんを経験する時代であり、働く看護師もその例外ではありません。スタッフからがんを告白されるたびに心は動揺し、同時に管理者として「治療と仕事の両立」をどう支援していくか悩みます。特に看護師の業務は夜勤もあり、立ち仕事も多く体力的にかなり厳しいため、治療に伴う副作用や体力の回復をみながら復職の時期や場所、業務を提案してきました。がんを経験した看護師も一人の大切な仲間であり患者さんを支える同志です。そのため、がんを抱えながら働き続けられるフレキシブルな勤務体制について提案し、働き続けられる職場環境を作りたいと考えます。

一方、社会はがんになっても働き続けられるように制度を整え、少しずつ変わってきています。2016年2月に厚生労働省が「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」を公表し、2018年3月に治療と仕事の両立支援に関する診療報酬として「療養・就労両立支援指導料」が新設されました。これは、医療機関の主治医と事業場の産業医の連携の下で、がん患者さんの治療と仕事の両立に向けた支援を充実させることを目指したものです。しかし、まだ十分にサポートを得られる職場は少ないと思います。復職を希望する患者さんにとって、看護師は治療の経過や副作用の知識があるため、患者個々に応じた具体的な方法を提案することが可能です。がんセンターでも、ハローワークと協働して、院内での就労相談を行っています。もちろん、看護師も主治医や産業医と連携しながら療養・就労両立支援に積極的に関わっていきたいと思います。

これからも、患者さんやご家族、そして働く人にもやさしいがんセンターとして役割を果たしていきたいと思っています。

# 臨床の現場から

## 覚醒下手術～「目を覚まして手術を受ける」ということ～

脳神経外科部長 井内 俊彦

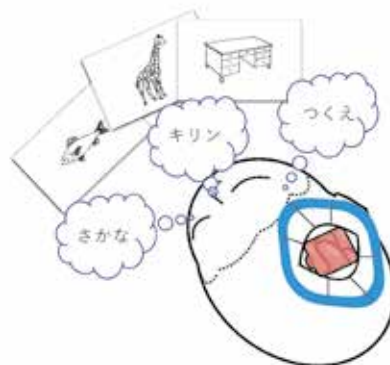
華

岡青州によって世界で初めて全身麻酔が行われたのが1804年。「寝ている間に手術が終わる」ことは患者さんにとって安心材料の一つですが、目が覚めたときに「こんなはずじゃなかった」という取り返しのつかない状況になる可能性も…。それが脳の手術で起これば事は重大です。脳科学が進歩し脳のどこがどんな機能を担っているか解明され、画像診断技術の進歩によりそれを手術前に3次元的に評価することも可能になりましたが、これらの知見や技術も完璧ではありません。

一方、「脳」という臓器には感覚が無いことを皆さんご存じでしょうか？ よく「前頭葉が痛い」と言う患者さんがいますが、これは正確に言うと前頭部の粘膜や皮膚・筋肉が痛いのであって、前頭葉が痛む訳ではありません。痛みを感じない脳の手術では、目を覚ました状態で手術を行う「覚醒下手術」も可能です。覚醒下手術では、痛みを感じる頭皮や筋肉の操作は全身麻酔をかけて患者さんが寝た状態で行いますが、それ

らの処置が終わった段階で全身麻酔を終了し、患者さんが目を覚ました状態で手術を行う方法です。患者さんは目の前のモニターに映った絵を見て質問に答えたり、術者と話しをしながら手術を受けます。言語機能や運動機能に影響が出るとすぐに分かりますので脳の大切な部位を傷つけることを未然に防ぐことができるのです。目を覚ました状態で手術を受ける患者さんの不安は、常に専門の医療チームがサポートし和らげます。覚醒下手術導入後の私達の検討では、覚醒下に摘出することで腫瘍摘出率が上がることも分かりました。術後の回復も早く、入院期間も短縮されています。最近では千葉県がんセンターで手術を受ける脳腫瘍患者さんの3分の1で覚醒下手術が採用されています。

「目を覚まして手術を受ける」ことは何よりも患者さんの機能と術後の生活を守るために大切になっています。覚醒下手術について知りたいことがあればいつでも脳神経外科スタッフにお問い合わせ下さい。



## 県民公開セミナー

毎年恒例の県民公開セミナーについて、今回は「今あなたに伝えたいがん免疫療法——ノーベル医学賞で話題の「がん免疫療法」をテーマに開催します。前半は千葉県がんセンターの医師による「胃がん治療における免疫チェックポイント阻害薬」「最近の肺がん薬物療法」「新薬の治験と臨床試験について」「がん免疫療法 最近の話題」について講演を行います。後半はがん相談支援センターの紹介と、参加者の皆様から集められた質問に関して参加者を変えながらパネルディスカッション・質疑応答を行います。

がん治療についての理解が深められる貴重な機会ですので、より多くの方にご参加いただけますようご案内申し上げます。

日時：令和元年9月21日（土）13：00～16：00  
（開場12：00～）

場所：ペリエ千葉7階 ペリエホール ルームA・B  
定員：300名（先着順・入場無料）



# 地域医療連携室だより

## がん治療を受けながら働きたいという方へ ～千葉産業保健総合支援センターによる 治療と仕事の両立支援のご案内～

心と体総合支援センター 看護師長 横土由美子



医学の進歩により、仕事を続けながらがん治療を受ける時代になってきました。しかし、実際にがん治療を受けている患者さんは、治療と仕事の両立について様々な悩みや不安を持っています。例えば、治療を受けながら仕事を継続したい、病気の事を会社にうまく伝えられない、治療と仕事を両立できるか不安、職場の理解・協力が得られない、治療に合わせた短時間勤務や休暇取得が難しいなど多岐にわたります。これまでは、今後の働き方について相談する場所

がなく、患者さん自身で会社と治療と仕事の両立について交渉し、職場復帰してきました。そのため、がん治療を継続する事に対して職場の理解や協力が十分に得られていない場合もあります。そこで、今回千葉県がんセンター・心と体総合支援センターと千葉産業保健総合支援センターが協働



し、がん患者さんに対する治療と仕事の両立支援を開始することになりました。

がん相談支援センター内に毎月第2、4金曜日10:00～13:00に相談場所を設置することにしました。相談には、千葉産業保健総合支援センターの両立支援促進員を配置します。両立相談は原則、予約制で一人約45分です。両立支援促進員は、患者さんからの要望に応じて患者さんの職場内規程の整備や両立支援プランの作成、職場復帰支援プランの作成等を患者さんの職場に助言し、支援します。また、患者さんの職場の産業医と連携し、主治医の治療への配慮事項に関する意見書作成依頼を支援します。多くのがん治療を受けながら仕事に復帰する事を考えている患者さんに活用していただきたいと考えております。お近くの患者さんの中で職場復帰や就職への不安や悩みを持っている方がいらっしゃれば、がん相談支援センターにお気軽にお問い合わせください。

### 治療と仕事の両立について相談に乗っています

治療をしながら仕事を継続したい方、一人で悩みをかかえていませんか？

「がんと診断されたけど今の仕事を継続したい」

- ・病気の事を会社にうまく伝えられない
- ・治療と仕事を両立できるか不安
- ・今後の働き方について誰に相談したらいいかわからない
- ・職場の理解・協力が得られない
- ・治療に合わせた短時間勤務や、休暇取得が難しい

千葉産業保健総合支援センターでは社会保険労務士・産業カウンセラー・保健師などの資格を持った両立支援促進員が業務の相談に無料です。病気や治療の進捗や治療を継続しながら働くに配慮してほしい従業員への配慮（短時間勤務、治療に必要な休暇、転勤転入など）を労務系から得られるか相談に乗ります。また企業に対して勤務条件や働き方改善の一環に勤務先に出向き、適切な就業上の配慮が得られるようにアドバイスさせていただく個別調整支援を行います。

千葉産業保健総合支援センターの両立支援促進員が、がん専門相談員と協力して相談をお受けします

対 象：今の仕事を辞めたいががんの治療を継続したい方やその家族

場 所：千葉がんセンターがん相談支援センター 費 用： 無 料

相談日時： 毎月第2第4金曜日10時～13時（予約制）

【予約先】 千葉がんセンター がん相談支援センター  
TEL 043(264)6801  
別の日時を希望する場合も個別に相談ください

独立行政法人労働者健康安定機構 千葉産業保健総合支援センター

## がん薬物療法

治験臨床研究センター診療部長 石井 浩

今、手元に一冊の本があります。「ガン特效薬 魔法の弾丸への道（新潮選書1989年）」。当時の抗ガン剤は、もっぱら第二次世界大戦時の毒ガスが由来となる殺細胞薬でしたが、今や分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など多種多彩になりました。がん細胞の増殖に関わる特定分子を狙い撃ちにしたり、免疫細胞に作用して間接的にがん細胞を攻撃したりする薬であり、従来のがん化学療法から現在ではがん薬物療法と呼ばれています。治験の主役は勿論このような薬剤になります。

### 治験アップデート

治験臨床研究センターでは募集中の治験等の情報を提供しています。概要は以下のとおりですが、詳しくは当センターのホームページをご覧ください。

### 当センターでは以下の治験を実施しています

#### ホームページアドレス

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/kanja/chiken/jissijoukyou.html>



#### 現在募集中の治験情報 令和元年8月2日現在

- |           |            |          |            |
|-----------|------------|----------|------------|
| ①乳がん 4件   | ④膀胱がん 2件   | ⑦食道がん 3件 | ⑩胆管細胞がん 1件 |
| ②胃がん 4件   | ⑤尿路上皮がん 3件 | ⑧睪がん 2件  | ⑪悪性リンパ腫 1件 |
| ③前立腺がん 5件 | ⑥腎細胞がん 1件  | ⑨胆道がん 1件 | ⑫その他のがん 1件 |

# 看護の現場から

## 感染対策推進室から

感染管理認定看護師 前田 佐知子

感

感染対策推進室は、2018年に院内組織として設置された部門です。2019年度に入ってから、メンバーが増員し、現在は、看護師2名、医師3名、検査技師3名、薬剤師2名で、感染対策ならびに抗菌薬の適正使用の推進活動に取り組んでおります。

今回は、看護師の活動について、少しご紹介したいと思います。今年度6月から2名体制となり、現在、張り切って感染対策の基本である職員の手指衛生の推進活動に取り組んでいます。

また、昨年度に、がん専門看護師と他の領域の認定看護師と協働し、患者さんが普段の生活の中で治療を続けるための感染予防についてパンフレットを作成しました。このパンフレットは、今後、がんセンターで、初めてがん治療を受ける患者さんへの情報提供の一部として配布できるようにしていきたいと思っています。通院患者さんで興味を持たれた方は、外来看護師にお声かけください。

ところで、読者の皆さんは1日に何回、どんな場面で手を洗いますか？

普段の生活では、食事の前とトイレの後に、石けんを使った手洗いをしっかり（30秒）行うことが大切です。水だけで12秒の手洗いでは、汚れや病原性の細菌・ウイルスを取り除くことができないといわれています。

世界保健機関によると、私たち医療スタッフは、入院患者さん一人あたり、1日20回の手指衛生を実践する状況にあるといわれています。高度な医療を提供している場合は、もっと多くの回数の手指衛生が必要かもしれません。

特に、手指衛生が重要な場面は、患者さんに触れる前や清潔な手で取り扱うべき医療処置の前だと考えます。感染対策推進室の看護師は、普段、院内を歩きながら、目的不明の手袋をつけている職員や部屋に入る前に手指衛生をしなかった職員をじっと見つめ、やさしく声をかけるようにしています。これからも、感染予防の原点は手指衛生であり患者さんを守るための行動として、当院の職員への教育に力を入れて参ります。



## がん看護研修会のお知らせ

千葉県がんセンターでは、都道府県がん診療連携拠点病院として、千葉県内のがん医療や看護の質を向上するために、がん治療に関する最新の知識やスキルを得ていくための研修会を毎年企画しています。今年度のテーマは、『スキルアップで今日から活かそう！がん薬物療法を受ける患者さんへのセルフマネジメント支援』で、10月19日に千葉駅のペリエホールで開催します。

抗がん剤治療の有用性が高まってきた昨今、がんに罹患した患者さんの約6割が、抗がん剤治療を受けるようになりました。しかし、多彩な副作用に悩まれる患者さんが増えるなど、新たな問題も顕在しつつあります。抗がん剤治療に伴う副作用を予防したり緩和するためには、医療者が副作用について十分に理解して患者さんにお伝えできること、そして患者さん自身が副作用を緩和するための工夫行動がとれるように、看護師がサポートしていくことが大切です。そのために看護師は学習しながら研鑽を積み重ねていく必要があります。

今回は、千葉県内のがん診療連携拠点病院等およびがん診療連携協力病院に勤務する看護師を限定とした研修会ですが、興味のある方、御連絡をお待ちしております。

千葉県がん診療連携協議会 教育研修専門部会 がん看護研修部会  
2019年度 がん看護研修会 企画

スキルアップで今日から活かそう！  
がん薬物療法を受ける患者の  
セルフマネジメント支援

日 時：2019年10月19日（土曜日）  
10：00～17：00

場 所：千葉駅ペリエホール

対象者：千葉県内のがん診療連携拠点病院等および  
がん診療連携協力病院に勤務する看護師

受講料：無料

お問い合わせ窓口：千葉県がんセンター 看護局

## 第28回 ふれあい広場夏祭りの報告



令和元年8月9日金曜日午後6時より、第28回ふれあい広場夏祭りが開催されました。今年は例年にもまして猛暑だったため、外で開催できるか心配していましたが、当日は涼しい風の中で開催することができました。

病院長のあいさつで夏祭りがスタート。待ち切れずに若干フライングしてしまった患者さんもちらほらいらっしゃいました。

がんセンターの夏祭りは射的や輪投げ、ヨーヨーやラムネなど夏祭り定番の出店から野菜販売やケアグッズといった少しめずらしい出店まであります。毎年、あめ細工には多くの患者さんが並び、大人気です。

そんな出店の中で一番盛り上がるのが、スイカ割りです。目隠しをして棒を持ち、「右右!」「もう少し左!」など声があちらこちらで上がり、とても盛り上がりました。

ふれあい広場のイベントは、がんセンターの職員だけでなく、たくさんの方々のボランティアの方々にご協力いただき、開催しています。忙しい中、協力いただいた職員や遠方から来てくださったボランティアの方に今年も無事に夏祭りが開催できたことを感謝いたします。ありがとうございました。そしてお疲れさまでした。



## 「MOTOKOメイクアップレッスン」の報告

令和元年度6月28日(金)午後2時より、東病棟3階食堂にて「MOTOKOメイクアップレッスン」が開催されました。患者さん方のこのイベントに対する期待は高く、「違う自分になれるのが楽しみ」という患者さんが、MOTOKOさんの登場を待っていらっしゃいました。ハリウッドで活躍されているMOTOKOさんは、「ご自分なりの美しさを引き出すのが、私の仕事です」とおっしゃり、患者さんに眉を描いたり整えたり、アイライナーを引いたりといったメイクを施すとともに、一人一人の個性に合った丁寧なアドバイスをしてくださり、患者さん方は見違えるように変わっていくモデルの患者さんを真剣な表情で見つめ、MOTOKOさんが一人のメイクを終えるごとに盛大な拍手が巻き起こりました。

また、メイクのみならずネイルについても、季節感のあるネイルをしてもらった患者さん方より「夏の感じでワクワクします」等、好評を博していました。

MOTOKOさん、アシスタントの青山さん、ネイルの安井さんの御三方には、御多忙の中、今年度も御協力して下さり誠に感謝しております。ありがとうございました。



## 「スマイルキャンサーウォークちば」開催のお知らせ

患者や家族・一般市民が集うチャリティーイベント「スマイルキャンサーウォークちば」は千葉県がんセンターをはじめ、多くの公的団体や学校、企業、ボランティアの協力を得て開催されます。このイベントは、チームを構成して会場内をウォークしながら、がん体験者・ご家族・ご遺族、地域や企業の方々、医療関係者との交流を通じて、がんへの理解を深める他、「がん医療者・経験者トークセッション」等、がんについて学ぶ場です。また、専門相談員のブースといったがんについて相談する場が設けられます。

がんについての理解が深められる貴重な機会ですので、より多くの方にご参加いただけますようご案内いたします。

日時：令和元年10月5日(土) 10:00~18:00

場所：千葉市美浜区若葉3丁目1番15 若葉3丁目公園



# 初診担当医表

予約受付時間 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始を除く) 9時～17時

2019年7月9日現在

診療科	月	火	水	木	金
肝胆脾外科	千葉 聡	高山 亘	高山 巨 石毛 文隆	柳橋 浩男	千葉 聡 有光 秀仁
食道・胃腸外科	池田 篤亨 外岡	鍋谷 圭宏 早田 浩明 外岡 亨	滝口 伸浩 池田 篤	鍋谷 圭宏 滝口 伸浩 郡司 久	早田 浩明 星野 敢
消化器内科	傳田 忠道 鈴木 拓人 喜多絵美里 三梨 桂子	傳田 忠道 須藤研太郎 天沼 裕介 南金山理乃	山口 武人 傳田 忠道 中村 和貴 三梨 桂子	傳田 忠道 鈴木 拓人 辻本 彰子 石井 桂浩	中村 和貴 須藤研太郎 天沼 裕介 北川 善康
呼吸器外科	岩田 剛和		飯笹 俊彦 岩田 剛和 松井由紀子		岩田 剛和 松井由紀子
呼吸器内科	芦沼 宏典 水野 里子	新行内雅斗 吉田 泰司 芦沼 宏典		新行内雅斗 吉田 泰司 水野 里子	芦沼 宏典
乳腺外科	山本 尚人 味八木寿子	味八木寿子 中村 力也	中村 力也 山本 寛人	山本 尚人 味八木寿子	中村 力也 味八木寿子 山本 寛人
形成外科				徳元 秀樹	徳元 秀樹
婦人科	鈴鹿 清美 婦人科腹腔鏡	田中 尚武 鈴鹿 清美 井尻 美輪 海老沢桂子	田中 尚武	田中 尚武 鈴鹿 清美 井尻 美輪 海老沢桂子	井尻 美輪 海老沢桂子
泌尿器科	小丸 淳 篠原 正尚	ベス さんじょん 斐 祥存	宋本 尚俊	小林 将行 植村 俊彦 篠原 正尚	深沢 賢 白川 昇英 石橋 武大
腫瘍血液内科	熊谷 匡也 佐藤 昌靖 丸山 聡	辻村 秀樹 菅原 武明 小野 敬子	熊谷 匡也 菅原 武明 佐藤 昌靖	辻村 秀樹 小野 敬子	熊谷 匡也 辻村 秀樹 丸山 聡
脳神経外科	井内 俊彦 堺田 司	(担当医)	井内 俊彦	(担当医)	堺田 司
頭頸科	(担当医)	佐々木慶太 佐々原 剛 櫻井 利興		佐々木慶太 佐々原 剛 櫻井 利興	
整形外科	米本 司 塚西 敏則 木下 英幸	石井 猛 嶋田 博人 木下 英幸 萩原 洋子		石井 猛 嶋田 博人	米本 司 塚西 敏則 木下 英幸 萩原 洋子
緩和医療科	坂下 美彦	藤川 文子	坂下 美彦	藤川 文子	坂下 美彦
核医学診療部		小川 和行	久山 順平	久山 順平	小川 和行

## 診療予約のご案内 予約電話 043-263-4071 地域医療連携室 予約担当

- \*当センターは予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をおとり下さい。
- \*初めて受診なさる場合は、かかりつけ医など医療機関からの紹介状をお持ち下さい。



**JR千葉駅から** 所要時間:約25分

千葉中央バス: 萱田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由)行乗車・千葉県がんセンター前下車

**JR鎌取駅から** 所要時間:約13分

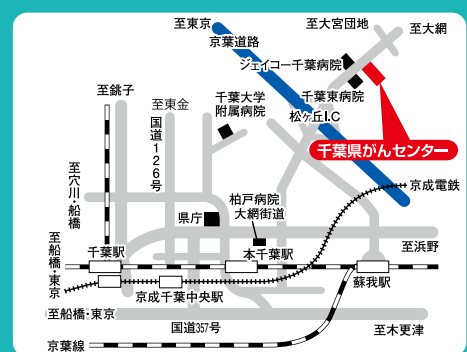
千葉中央バス: 千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

**JR蘇我駅から** 所要時間:約16分

千葉中央バス: 鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

**松ヶ丘I.Cから**

大網街道を大網へ向かって約2km右側



### 千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2  
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>